



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

# 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛 サントリーホールディングス株式会社



名前 小室 結子

(1枚目)

る	作	ン	言	に	力	が	語	連	語	説	ン	「	私	験	葉	に	端	で	言
こ	中	語	語	よ	を	、	で	の	「	で	フ	レ	た	は	を	た	な	の	葉
と	、	だ	は	、	振	の	執	事	レ	、	イ	ナ	ち	誰	何	た	例	誹	は
が	、	、	、	、	る	ち	筆	件	ナ	あ	ク	デ	に	も	年	、	を	謗	は
指	こ	た	作	保	、	に	し	を	イ	る	シ	ア	余	、	に	持	中	、	た
摘	の	、	家	護	て	自	た	紹	ン	も	ヨ	ン	る	、	ち	傷	、	と	え
さ	架		自	さ	い	宅	小	介	語	の	ン	、	も	、	出	は	、	え	ば
れ	空		身	れ	た	に	説	す	と	だ	、	、	、	、	さ	、	、	、	、
る	言		に	た	こ	少	に	る	、	、	、	、	、	、	ず	、	、	、	、
。	語		教	少	と	女	よ	。作	そ	、	、	、	、	、	と	、	、	、	、
そ	に		え	女	が	を	、	家	、	、	、	、	、	、	も	、	、	、	、
れ	は		こ	が	、	監	て	は	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
は	、		ま	、	、	禁	人	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	重		れ	唯	、	、	気	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
接	大		た	一	、	、	を	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
続	な		レ	使	、	、	博	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
語	欠		ナ	用	、	、	し	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	陥		デ	で	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
助	が		、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
詞	あ		ア	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

# 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社



名前 小室 結子

(2枚目)

が 極 度 に 少 な い う え 、 そ れ ぞ れ の 単 語 が 多 く  
 の 意 味 を 持 っ せ い で 、 文 章 の 解 釈 が は き り  
 定 ま ら な い こ と だ 。 文 脈 を 読 ま な け れ ば 、 単  
 語 が ど の 意 味 で 使 わ れ て い る の か も 分 か ら な  
 い 。 た と え ば 、 暴 力 行 為 の み を 正 確 に 示 す 言  
 葉 は な く 、 「 話 し か け る 」 な ど の 動 詞 と 混 同  
 さ れ る 。 こ の 言 語 を 用 い て し か 思 考 す る こ と  
 が で き な い 少 女 は 、 「 暴 力 」 と 「 会 話 」 が 同  
 じ 単 語 で あ る た の に 、 二 者 を 同 じ 概 念 と し て  
 理 解 し て し ま う の で あ る 。

複 数 の 意 味 を 持 っ 曖 昧 な 言 葉 は 、 む ろ ん 日  
 本 語 に も 存 在 す る 。 近 年 と く に よ く 見 か け る  
 の は 、 「 ヤ バ イ 」 だ ろ う か 。 喜 び も 焦 り も  
 こ の 一 語 が 担 え て し ま う 。 読 後 、 私 は そ の 使  
 利 さ を 、 危 な い と 思 い は じ め た 。 複 数 の 感 情  
 を ち と つ の 言 葉 で く く り 続 け た ら 、 や が て  
 見 分 け が つ け ら れ な く な っ て し ま う の で は な  
 い か 。 い っ だ た か 、 思 わ ず 「 ヤ バ イ 」 と 叫  
 ん だ と き 、 も し も 私 が そ の 言 葉 を 知 ら な か  
 た ら 、 何 を 叫 ん だ の だ ろ う と 考 え た 。 「 ヤ ば



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

# 青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛 サントリーホールディングス株式会社



名前 小室 結子

(3枚目)

別々であるはずの思いや事実を混同すること  
 しみから逃げられ。曖昧な言葉で、本当は  
 を掘り下げ、びたり似合う表現を探す苦  
 の言葉を知らなければ、いちいち自分の心境  
 な意味にもなり得てしまいうからた。この魔法  
 をはきり定義づける鋭利さが無い。どん  
 だが、やばいという言葉には、ものごと  
 名前が見つかからない時間もまた、苦痛だ。  
 捨てる苦痛が伴う。自分の感情にふさわしい  
 れには、言葉では表せないニュアンスを切り  
 葉で定義すること、やと整理できる。そ  
 私は、「悲しい」「嬉しい」と言  
 ジを、言葉にすることではじめて理解する。  
 人は、自らのうちにある漠然としたイメ  
 ように思えたのだ。  
 分の言葉と同じように単純で、単調なもの  
 は急速に膨らんできた。自分の感受性が、自  
 てこなかったのだらう。考えていると、不安  
 表すことができたはずの言葉は、どうして出  
 いよりも、もとの的確に私の感情の機微を



第68回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

# 青少年読書感想文全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/内閣府・文部科学省 協賛 サントリーホールディングス株式会社



名前 小室 結子

(4枚目)

他	人	に	向	け	る	た	め	の	剣	で	は	な	い	。	自	分	で	も	整
新	し	い	言	語	体	系	を	学	び	つ	つ	あ	る	少	女	は	言	う	。
ど	。																		
そ	の	力	を	借	り	て	し	ま	う	こ	と	が	あ	る	と	思	う	け	れ
か	ら	も	重	宝	さ	れ	る	だ	ろ	う	け	れ	ど	。	私	も	、	つ	い
使	う	こ	と	が	で	き	る	曖	昧	な	単	語	は	、	き	っ	と	こ	れ
も	の	の	在	り	方	が	問	わ	れ	て	い	る	。	深	く	考	え	ず	に
に	追	い	つ	め	る	こ	の	社	会	に	あ	っ	て	、	言	葉	と	い	う
イ	ア	に	氾	濫	す	る	匿	名	の	言	葉	が	た	や	す	く	人	を	死
し	さ	が	声	高	に	叫	ば	れ	る	昨	今	、	ソ	ー	シ	ャ	ル	メ	デ
に	立	た	さ	れ	て	い	る	の	で	は	な	い	か	。	言	葉	の	恐	ろ
は	し	な	い	。	け	れ	ど	私	た	ち	は	、	ひ	と	つ	の	転	換	点
日	々	変	化	し	て	い	く	も	の	で	、	正	し	い	形	な	ど	あ	り
	日	本	語	の	乱	れ	、	な	ど	と	は	思	わ	な	い	。	言	語	は
の	が	衰	え	て	し	ま	う	。											
た	ら	、	い	っ	か	物	事	を	区	別	し	て	考	え	る	力	そ	の	も
い	の	だ	ろ	う	か	？		そ	ん	な	こ	と	を	繰	り	返	し	て	い
は	安	楽	だ	。	迷	わ	な	く	て	す	む	。	で	も	、	そ	れ	で	い



第68回 読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

# 青少年読書感想文全国コンクール

主催/公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援/内閣府・文部科学省 協賛 サントリーホールディングス株式会社



名前 小室 結子

(5枚目)

に	述	ら		に	傷		や	た	え	新	の		焦	離	純	理
な	べ	言		説	つ		は	い	る	し	人		り	す	化	し
る	て	葉		明	け		り	と	。	い	生		は	た	し	き
。	み	を		で	て		手	強	私	言	を		違	め	て	れ
	る	選		き	し		に	く	自	葉	取		う	の	ご	な
	と	び		な	ま		余	思	身	は	戻		の	剣	た	い
	き	、		い	う		る	。	、	、	し		だ	だ	混	さ
	、	し		。	。		。	。	も	彼	て		、	。	ぜ	ま
	世	ど		だ	自		心	言	と	女	い		と	暴	に	ざ
	界	ろ		が	分		に	葉	た	に	く		理	力	し	ま
	は	も			の		も	の	く	新	少		解	と	て	な
	ま	ど			気		な	力	さ	し	女		す	会	感	情
	っ	ろ			持		い	は	ん	い	の		る	話	情	や
	と	に			ち		発	、	の	世	姿		た	は	事	物
	少	自			さ		言	正	言	界	は		め	違	物	、
	し	分			え		で	直	葉	の	鮮		の	う	の	っ
	だ	の			思		友	な	を	見	や		。	、	を	い
	け	思			い		た	と	知	方	か			喜	、	っ
	曲	い			通		ち	こ	り	を	か			び	切	い
	豊	を			り		を	ろ		教	た			と	リ	単
	か															